

# こんにちは 町会です

## 地域の笑顔の輪を広げる 町会・自治会のまちづくり活動

### 八丁堀二丁目 西町会



昭和30年代



平成24年



平成25年



昭和55年

### 横山町町会

写真提供  
中央区企画部広報課

### 勝どき町会



平成25年



昭和47年

写真提供  
中央区企画部広報課

**町会・自治会活動に参加して  
世代を超えたふれあいを！**

中央区の人口は、三十代から四十代の方を中心に十六年連続で増加しており、今年中に十三万人台を達成する勢いとなっています。

まちのにぎわいが増す中で、毎日安全で安心に暮らしていくためには、地域で暮らす人々との相互理解や信頼関係の構築が必要不可欠となります。

地域において、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については一昨年三月の「東日本大震災」での経験を活かし、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

さらに、町会・自治会は、盆踊りやもちつきなどの伝統行事も行っていますので、子どもから大人まで幅広い年齢層の方たちとコミュニケーションを図ることが出来るのも魅力です。

最近では、子育て世代の方たちが、親子連れで参加する姿も多く見られるようになり、地域におけるコミュニケーションの輪がより一層広がっています。

「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方を対象に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう！

京橋地域  
 企業への積極的な声かけで  
 仲間の輪が広がる町会  
 八丁堀二丁目西町会  
 会長 藤川 靖夫さん



時代劇でもおなじみの八丁堀は、下町の風情が残る歴史ある地域です。「八丁堀二丁目西町会」は、私が子どもころから町会活動が盛んで、父も会長を務めていました。近年は、多くの企業が法人会員として町会活動に積極的に参加してくれるので、住民との間で活発な交流が図られています。」と、会長の藤川さん。

昭和三十年代から始まった高度経済成長時代を経て、八丁堀はオフィス街として多くの企業が進出する一方で、住民の数は減少しました。

まちの様子が大きく変わる中で、町会は企業に対して、積極的に声をかけてきました。

「町内に企業が転入してきた際に、会長としてあいさつへ行き、町会の趣旨を説明し、加入であるとか行事への参加をお願いしています。さらには、飲食店など地元商店の方たちも、積極的に町会をPRしてくれるので、ほとんどの企業が快く加入してくれます。」と、藤川さん。

現在、八丁堀二丁目西町会の法人会員は約八十社に上り、全会員数の四分の一を占めるほどになりました。うれしいことに、毎朝、始業前に町内を清掃したり、町会の防災訓練に参加するなど、地域の一員として協力的な企業も多く見られます。

いつまでも活気あふれる  
 八丁堀を願って

町会では、恒例行事として、一月に「餅つき大会」を、秋には隔年で「バス旅行」などを実施しています。



十二月には、青年部を中心に防火と防犯を目的に夜間の巡回警備を行います。また、八月には、近隣町会

と合同で、京橋七の部連合町会主催の「八丁堀納涼盆踊り」を開催するほか、「大江戸まつり盆おどり大会」にも縁日団体として参加しています。

そして、町会の行事で最も盛り上がるのは、隔年で六月に行われる「日枝神社例大祭山王祭」です。

八丁堀二丁目西町会では、法人会員の企業の皆さんも、金曜の夕方に「企業みこし」として、町会のみこしを担ぎながらまちを巡行します。みこしが会社の前に差しかかる

と、大きな歓声が上がり、「八丁堀二丁目西町会」と染め抜かれたはんてん姿の仲間へ声援を送ります。



「企業みこし」は、町会青年部が初めての方でも楽しく参加できるように担ぎ方を指導するなど、地元住民と企業が一体となって祭りを盛り上げています。

また、祭りの期間中、みこしの待機所や打ち上げ会場として駐車場を開放してくれる企業もあり、とても助かっています。

「来年には、町内にファミリー世帯向けの大型マンションが完成し、多くの新しい仲間が増えます。私は、子育て世代の家族をはじめ、新しくいらした方には、ぜひ町会に加入していただき、より素晴らしいまちを共につくっていきたいと思っています。さらに、近隣の町会とも連携して八丁堀全体が元気になることを願っています。」と、藤川さんは話がまち八丁堀の未来に期待を込めて熱く語ります。

近い将来、八丁堀二丁目西町会は、新しい仲間とともに、より一層にぎやかになっていくことでしょう。

～町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみ利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご利用ください。



中央区 町会・自治会ネット 検索

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。

お問合せ先 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

日本橋  
地域織維問屋のまちを支える  
町会活動

横山町町会

会長 飛川 惠一さん



横山町は、江戸時代から続く集団問屋街として、衣料品や洋装雑貨の間屋を中心に数多くの店が軒を連ねています。

現在にもぎわいのある横山町ですが、戦後の高度経済成長時代に、店舗の二階などに住んでいた方たちが郊外に家を持つ『職住分離』が進み、在勤者が多いまちになりました。

横山町町会は、会員のほとんどが商店や企業などで、地域の商業団体「横山町奉仕会」にも数多く加入しています。両方の役員を兼任している方も多く、「まちのことは町会、仕事のことは奉仕会」と、分かりやすく決めているので、町会活動は円滑に行われています。

「横山町は、織維問屋が多く引火しやすい商品が多かったからでしょうが、

戦後の一時期は、特に火事が多く発生していました。しかし町会活動として防災訓練を重ねること



昭和55年

▲写真提供 中央区企画部広報課



平成25年

写真上：下 横山町大通り(旧日光街道)のまちなみ

で、皆さんの意識が高まり、ここ二十年から三十年は大きな火事はありません。」と語るのは、会長の飛川さんです。

町会では、毎年十一月に防災訓練を実施しており、日本橋消防署から消火器の使い方、AEDを使った蘇生術、消防署への通報の仕方などを教わり、実地訓練を行います。

また、災害時の対応について、各店舗や企業に対して、「従業員を会社が守る」を基本に、保存食や防災用品の準備をお願いしています。

まちの安全と安心を願う  
町会のさまざまな取組み

横山町は、多くの方が働き、訪れるまちということもあり、町会では、各専門部も熱心に活動しています。

厚生部は、特に公衆衛生に関して力を入れています。「インフルエンザ予防接種」は、町会が費用の一部を負担し、仕事の合間に行くことが出来るよう町内のクリニックを紹介しています。また、毎年春と秋には「集団献血」を実施しており、会員に加えて従業員の方たちも多数駆け付け、献血に協力してくれました。

交通・防犯部は、駐車違反の見回りや歩道にはみ出た荷物のチェックなどを実施し、町内の秩序維持に努めています。

「このまちが最もにぎわうのは、二年に一度行われる『神田明神神田祭』です。横山町町会は、日本橋四の部連合町会の一員として、みこしを担いで巡行します。祭りの当日は、商店の従業員の方たちも子どもさんやお孫さんを連れて参加するほか、見物客も大勢訪れるので、驚くほどにぎやかになります。」と、飛川さん。

町会では、新たなイベントとして、四年前から、七月の最終金曜日に若手有志が集まり、会費制の「ビールパーティー」を始めました。ビールを飲みながら、アマチュアバンドの演奏を楽しみ、親睦を深めています。

「町会が大切にしているのは、『まちとしてできることは何でもやろう！』という精神です。近年、新たにマンションが建ち、住民が増えてきましたので、皆さん町会に加入してもらって、みんなで意見を出し合いながらより良い町会にしていきたいと思っています。」と、飛川さんは、これまでに語ってくれました。

## ～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

現在、「中央区」には、約4万1千の事業所に74万人の従業員が働いています。

2年前の「東日本大震災」では、多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。

法人企業においても、日ごろから町会との連携を深め、地域内での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することで、日中多くの時間を過ごす地域の方とコミュニケーションを図ることもできます。さらに、町会に加入し区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどこの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。





**集合住宅が建ち並ぶまちで  
強まる住民同士のきずな**

勝どき町会 会長 村上公一さん



勝どき町会は、勝鬨橋近くの高層住宅や大規模商業施設が建ち並ぶ勝どき一丁目一番から七番までを区域としています。

戦後の復興期は、町内には引揚者の住宅や都営住宅、銭湯などに加え、倉庫が建ち並んでいました。

昭和の終わりごろから、倉庫の跡地などに大規模な集合住宅が建ち始めました。現在、町内は集合住宅のみで、戸建ての住宅はありません。「まちが大きく変わり、長年にわた

って住み続けている方は少ないですが、今でも郵便受けに新聞が三日分もたまったら、近所の人が心配して声をかけるような人情味あふれるまちです。」と、会長の村上さん。

勝どき町会では、地域特性を十分に考慮した町会運営を行っています。

町会の役員は、六棟の集合住宅から規模に応じた人数を選出し、毎月開催される役員会に出席します。役員会で提案された事項は、各棟に持ち帰り検討され、翌月の役員会で意見を集約し方針を決定します。

「役員会のモットーは、『常に前向きに取り組み、決して後退しない。』です。町会の活動報告書は毎月作成し、会計や転出入者、訃報などの情報も記載して皆さんに回覧しています。定期的に報告することは信頼につながりますし、活動状況を周知することで役に立つ提案や意見をもらうことも出来ます。」と、村上さん。

また、会員の半数以上が高齢者であるため、町会費を最小限に抑え、質素な町会運営を心がけています。

最近では、子育て世代の方たちの町会への加入が増えていますが、勝どき町会では、町会活動を理解してもらうために、数カ月間のオブザーバー参加も認めています。

町会の恒例行事として、四月に新入学児童のお祝いを、九月の敬老の日には、七十歳以上の方にお米券を贈呈しています。十月の「親子バス旅行」は、祖父母と孫での参加も可能なため、多くの方が参加しています。年末には夜回りを行っています。

また「大江戸まつり盆おどり大会」や「総合防災訓練」など中央区主催の行事にも町会として積極的に参加しているほか、三年に一度の「住吉神社大祭」にも勝どき・豊海連合町会で参加し、大いに盛り上がります。

**地道な活動を続けることで  
着実に広がる人々の輪**

町会では、日頃から周辺道路の清掃も実施しており、中央区から何度も表彰されました。

「長続きの秘訣は、季節によって時間帯を変えたり、悪天候のときは中止したりと無理をしないことです。ね。清掃や草刈りは健康にも良いですし、会話が弾んでコミュニケーションを築ることが出来ます。決して強制せずに、みんなが頑張っているうちに、自然と手伝ってくれる方が増えました。年末の夜回りも以前は数名の参加でしたが、昨年は二十数名と増え、ありがたく思っています。」と、村上さん。

また、企業や商店なども法人会員として町会に加入し、災害時における協力を約束してくれています。

これからも、勝どき町会は多くの仲間とともに着実に歩み続けていくことでしよう。

**コミュニティふれあい銭湯**

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で銭湯の湯をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしています。平成25年度の前期は、下記の日程となっています。

<b>[開設日]</b> 4月12日(金)／26日(金)	5月10日(金)／24日(金)	6月14日(金)／28日(金)
7月12日(金)／26日(金)	8月9日(金)／23日(金)	9月13日(金)／27日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんだ趣向で浴場を飾ります。

<b>[時間]</b> 各浴場営業時間	<b>[場所]</b> 中央区内公衆浴場(銭湯) 10浴場
<b>[対象者]</b> 中央区内在住・在勤者	<b>[入浴料金]</b> 一人100円 <small>※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料</small>



**お問合せ先** 区民部地域振興課区民施設係 **03-3546-5623**